
あんぶれら

たま

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あなぶれら

【Nコード】

N9138Y

【作者名】

たま

【あらすじ】

今日はひとりでおでかけするの
傘なんていらない
だってあなたの困った顔が見たいんだもの

もうあなたは私の隣になんていないのにね、

今日は生憎の雨模様

やっぱりお出かけは止めにするわ
だって貴方を困らせてしまうもの

もう、すぐそこに

春は近付いている

だから私は貴方から卒業しなくちゃいけないと思うのよ
ねえ、私が貴方のために最後に泣いたのは
いつだったかな？

日が経つにつれ感じていた

薄れる感情を、、

貴方のことを大好きだった時間がなくなりそうで怖いの
今も、きつと明日も

貴方から卒業する時なのかもしれない

今日をお出かけに選んだ理由

それは本当に寂しくなっただけ？

、、、いいえ、違うの

本当はさようならをするため

心のどこかで貴方に頼っていたのかもしれない
存在さえ曖昧なこの感情の中で

でも、薄れてゆく感情に気付いてしまった

大人になってきてるんだ、と気付いたの

貴方のカレンダーはあの時のまま、

時を刻んではいけないけれど

私のカレンダーはこれからも

ゆっくりと心に傷や癒し痛み優しさ

沢山の思い出を残しながら刻んでゆくだろう

私のカレンダーまで自分で止めてしまつてはいけない

そう、気付いたの

薄れるこの感情に

成長を感じてしまった

貴方はもう届かない場所に行つてしまつていることを
暦を歩みゆくうちに気付いてしまった

今日はあいにくの雨模様

出かけないで正解

最後の最後で貴方を困らせたくないなんてないもの
、、、 やっぱり、嘘

少しは困らせて私のことを忘れないようにしちやいたいわ

忘れなくていい

この痛みも思い出も

それでも前に進むには

私は貴方から卒業しなくてはいけないの

生憎の雨で踏ん切りがついたの

せっかくのよそ行きの格好も

大胆に脱いで洗濯機に放り込む

それはまるで

過去と現在と未来を繋ぐ線のように弧を描いた
空中に1本の線を、、、

私の臉の裏に残像を残すように、、

いままで支えてくれて

ありがとう

忘れないわ、絶対に

今日は貴方と最初に出かけた日

そして今日は貴方から私が卒業する、

そう、卒業式

桜はまだ咲きそうにないけれど

揺れた記憶の枝に

貴方の笑顔が綺麗な桜と重なった

ひらり

ひらり

落ちたのは私の初恋

雨に打たれて

湿らせた花弁は少し悲しそうに

嗚呼、

このタイミングで晴れてしまったわ

神様も天の邪鬼なのね

（後書き）

去年の3月に書いたものがでてきました

恋愛は色々と障害がつきものです

別々の道を歩んでまた同じ道に戻れたなら
なんて思っていた昔の自分が懐かしい

戻ってこないものはこの世には万とあつて
戻って来るものはほんの一握り。

それでも大好きなひとにもう一度会いたくなるんです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9138y/>

あんぶれら

2011年11月27日12時49分発行